

平成 26 年度事務事業評価調査

事業コード	03010401	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	千早小吹台小学校耐震補強事業	担当部署名	教育課
		作成責任者職氏名	課長 中野 光二
		内線	650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	04教育施設等の整備・教育環境の充実
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (平成25年度～ 年度)		実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>老朽化による耐震診断の結果により、耐震化が必要な施設の診断及び改修を行い、児童・生徒が安心して生べる教育環境の整備を図る。</p> <p>②内容</p> <p>昭和56年以前に建築された学校施設の耐震補強等の工事を行う。</p>	小学生
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
全ての学校の耐震化率の向上が図れる。	財政的負担

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	63,515	174,510	157,910	141,500	0			
財 源 内 訳	国庫支出金		78,333	72,901	43,777			
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債	59,000	96,000	84,300	97,600			
	その他の特財 一般財源	4,515	177	709	123			
人員費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30					
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,767	1,767	0	0			
総コスト費(千円)(A+C)	65,179	176,277	159,677	141,500	0			
人口あたりコスト(円)	10,756	29,089	26,349	23,350	0			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	学校施設耐震改修率	%	82	82	100%	100%	
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	子ども達が安心して学習できる教育環境を整備する必要がある。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	児童の安全性が確保されるとともに、非常災害時の地域住民の応急非難場所となる。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	国庫補助金があり、効率的に進められる。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	学校を利用する人全員が、安全に利用することができる。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16)	16 / 16	100% (B)
-------------------------	---------	----------

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	100%	100%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
学校施設の耐震化率100%を達成するため、引き続き取り組んでいく。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
安心・安全な学校生活を過ごすために、学校施設の耐震化を早期に取り組む必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
安心・安全な学校生活を過ごすために、学校施設の耐震化を早期に取り組む必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止